

まえがき

成功させない見えない力

私は美容師さんを中心として、専門学生や社会人に仕事のレベルアップの方法を教える講師こうしをしています。経営コンサルタントやセミナー講師というのが私の仕事になります。年間を通して100日以上は講習こうしゅうをしていて、講習を受ける人は、年間1000人を超えるほど、たくさんの人と関わっています。人と関わる中で、どんどん結果を出して成功する人もいるし、どんどん成長する人がいます。しかしながら、全然成長していない人や結果が出ない人のほうが多くいることに気がつきます。

世の中の多くの本は、成功者が成功するための方法を書いていますが、それを読んでも、成功する人は極端きょくたんに少なく、多くが普通の人以下の状態になってしまいます。なぜなのでしょう？ その人に大きな問題があるのでしょうか？ そんなに人の能力には差があるのでしょうか？ そんなことを感じながら仕事をしていたある日、その人に問題があるのではなくて、【見えない何かが原因でうまくいかないように仕向けられている】のではないだろうか？ と感じるようになりました。それからというもの、私は成功する人がどんなことをしてきたか？ ということよりも、失敗したりうまくいかない人のくせや考え方、ついついやってしまいがちな行動などに目を向けるようになりました。すると、失敗する原因や理由がどんどん出てきました。

96%の人を成功させない見えない力

成功する人は4% 成功しない人は96%

成功するのは、ひと握りにぎの人です。たしかにスポーツの世界でも、仕事でも、勉強でも、天才と呼ばれるくらい結果を出す人は、ほんのひと握りです。

これは、【ほとんどの人が成功できない】ということなのですが、私は、ここに何か見えない力の存在を感じてしまいました。つまり、96%というほとんどの人が成功しないというのは、異常いじょうなことだと感じたのです。50%であれば、ここまで注目しなかったのですが、「96%の人を成功させないようにする暗黒あんこくの力ってすごいな」って感じてしまい、「その暗黒の力の正体しめいかんを見つけたい」と使命感にかられてしまったのです。そして、この見えない暗黒の力は、私達からは見えないのですが、日常いたの至る所に存在して、邪魔じゃまをしていることに気がつきました。ほとんどの人を飲み込むぐらい、とてもとても大きな力です。まるで宇宙から意思を持って邪魔しに来ているようにさえ感じたのです。しかも、目に見えませんか。知らず知らずのうちに、その力に身体を乗っ取られていることに気がつけないんですよ。

「マトリックス」という映画で、現実の世界が実は機械の一部にされ、身動きがとれない世界で機械に見せられていた仮想現実かそうげんじつを信じ込んでいたことに気づき、衝撃しょうげきを受けるシーンがあるのですが、あれと同じ感覚です。あるいは、テレビアニメの「妖怪ウォッチ」の妖怪のように実は見えないだけで、目の前に妖怪はたくさんいる。そんな感覚で、人を成功させないように邪魔する暗黒の力の存在に気が

つきました。

成功を邪魔する透明なモンスターが、宇宙からの意思によって、私達の身の回りに、たくさん送り込まれている。そう考えると妙に納得できたのです。そこで、私はこの暗黒の力を宇宙法則モンスターと名付けて、その種類や能力、そして対策を考える日本初の宇宙法則モンスター研究者となったのです。

モンスターの研究をはじめて3年の月日が流れ、それを見えるようにするために、モンスターのキャラクターを知り合いのイラストレーター中舘愛さんに描いていただき、名前をつけて、自作のモンスターカードを配るようになりました。主に私の講習に参加した人に配っているのですが、それが地味に好評で、そんなモンスター達を一気に見えるようにするためのプロジェクトとして、この書籍化が実現しました。

この本の使い方

この本は、最初から順番に読んでもいいし、途中から読んでも構かまいません。おすすめの使い方は、「自分にとりついているモンスターを教えてね」と、心の中でつぶやいてから、ページをパラパラめくって、止まったページのモンスターを発見するゲーム感かんかく覚で読むことです。自分にぴったりのモンスターが見つかるかもしれません。そのモンスターの特とくちよう徴を読んで、対たいさく策をしっかりと取ること。あるいは、自分の周りの人にもモンスターを選んでもらうといいですよ。直接、人に「〇〇さん。もっとこうしたほうがいいよ」と指摘してきすると、「余計よけいなお世話だ」とか、「プライドが傷ついた」とマイナスに受け取られることが多いですからね。自分も自分の周りの人も成功に近づけるゲームだと思ってこの本を活用してくださいね。